

平成27年度

事業報告書

一般財団法人 日本交通安全教育普及協会

I 研修・教育活動

1. 交通安全教育指導者等養成活動

- (1) 交通安全教育指導者研修会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) チャイルドシート指導員養成研修会の開催・・・・・・・・・・・・ 2
- (3) スーパーアドバイザー養成研修の実施・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (4) 高校生向け自転車安全教育インストラクター認定及び更新講習会の開催・・・・・・・・ 3
- (5) 高等学校における自転車安全指導研修会の開催・・・・・・・・・・・・ 5
- (6) 二輪車(主として原付)通学許可校等の生徒指導担当者研修会の開催・・・・・・・・ 5
- (7) 交通ボランティア等ブロック講習会の開催・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (8) 高齢者安全運転推進協力者養成事業の開催・・・・・・・・・・・・・・ 7

2. 交通安全教育指導者等支援活動

- (1) 学校における交通安全教育に関する協議会の開催・・・・・・・・・・・・ 7
- (2) 各種認定者との連携による地域交通安全モデル事業の実施・・・・・・・・・・・・ 8
- (3) 講師派遣の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (4) 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業の実施・・・・・・・・・・・・・・ 8

3. 交通安全教育啓発活動

- (1) ドライバー向けセーフティセミナーの開催・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (2) 自転車交通安全教育地域一体型プロジェクトの実施・・・・・・・・・・・・ 9
- (3) 自転車安全利用講習会の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (4) 住民参加型の地域交通安全普及啓発モデル事業の実施・・・・・・・・・・・・ 10
- (5) 緊急時の対応に関する啓発活動の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- (6) 国際協力による教育普及活動の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- (7) 関係機関と連携した交通安全教育啓発活動の推進・・・・・・・・・・・・ 12

II 調査研究活動

- 1. 高齢者の交通安全に関する意識等の調査・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 2. 子供に対する自転車教育に関する調査・・・・・・・・・・・・・・ 13

III 情報収集提供活動

- 1. 月刊誌「交通安全教育」の編集・刊行・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 2. ホームページによる情報の発信及び収集・・・・・・・・・・・・・・ 13

IV 教材の制作・普及事業

- 1. 交通安全教育啓発資料・機材の開発及び普及・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 2. 教育啓発資料の監修・指導等の実施・・・・・・・・・・・・・・ 15

V 基本財産等運用事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

VI 会議の開催

- 1. 理事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 2. 評議員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 3. その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

I 研修・教育活動

交通安全教育の担い手である指導者等の養成と指導力・資質の向上を目的として研修・支援を行うとともに、子供や高齢者、一般市民等の交通参加者を対象に、交通安全意識の向上と安全な交通行動の実践化を図ることを目的として交通安全教育啓発活動を実施した。

1. 交通安全教育指導者等養成活動

(1) 交通安全教育指導者研修会の開催

交通安全教育に携わる行政担当者、交通指導員等を対象に、指導者としての資質向上を目的とした研修会を、内閣府の後援を得て開催した。

- ①日 時 【1日目研修】 平成28年1月28日(木) 13:00~17:00
【2日目研修】 平成28年1月29日(金) 9:00~16:00
- ②場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)
- ③テ マ 「子供と高齢者に対する効果的な交通安全教育」
- ④内 容 【1日目研修】
- 講義1「子どもの交通安全教育 通学路の安全を考える」
講師：NPO日本こどもの安全教育総合研究所理事長 宮田 美恵子 氏
 - 講義2「高齢者の交通安全 高齢歩行者の特性と交通安全教育」
講師：東京都健康長寿医療センター研究所
老化制御研究チーム副部長 青柳 幸利 氏
 - 実践発表1「市民活動団体としての交通安全教育」
講師：交通教育NPO OSCN じてんしゃスクール 代表 片山 昇 氏
- 【2日目研修】
- 実践発表2「子どもに対する交通安全指導」
発表者：海津市 交通指導員 牧野 和子 氏・倉田 幸子 氏
 - 実践発表3「高齢者に対する交通安全指導」
発表者：つくば市交通安全教育指導員 大川 初江 氏・廣瀬 明子 氏
 - 実践発表4「交通安全教育の新たな取組」
発表者：(一財)日本交通安全教育普及協会
 - 班別協議・発表
- ⑤参加者 90名

(2) チャイルドシート指導員養成研修会の開催

チャイルドシートの正しい知識の定着と使用の促進を目的として、チャイルドシートに関する法的・技術的知識、正しい装着方法など専門的知識を修得した指導者を養成するための研修会を、内閣府、警察庁及び国土交通省の後援を得て、2会場で3回開催した。

- ①会 場 【東京会場】平成28年2月1日(月) 9:50~16:50
国立オリンピック記念青少年総合センター 50名
平成28年2月2日(火) 9:50~16:50
国立オリンピック記念青少年総合センター 50名
- 【愛知会場】平成28年2月8日(火) 9:50~16:50
ウィルあいち 56名

- ②内 容
- チャイルドシートと幼児について（医学的見地から）
 - 道路交通法について（チャイルドシートの使用義務）
 - チャイルドシートの技術基準
 - チャイルドシートの基礎知識
 - チャイルドシート取付け実習

(3) スーパーアドバイザー養成研修の実施

自動車教習所指導員を対象に、交通安全教育を実施できる企画力と教育能力を備えた人材の養成を目的としたスーパーアドバイザー養成研修（延べ5日間）を実施した。

①研 修 日 【集合研修】

第11期：平成27年6月1日(月)～3日(水)（3日間）

【フォローアップ研修】

第11期：平成27年10月13日(火)～14日(水)（2日間）

②場 所 （一財）日本交通安全教育普及協会 会議室（東京都港区）

③内 容 【集合研修】

- 講話「交通行政の概略」
 - 教育技術指導1「人間行動と動機づけ」「リーダーシップの基本」
「地域の交通安全センターになるために」
 - 実習1（グループ討議・全体討議）「ヒヤリハット実例と原因・対策」
 - 応用1（グループ討議）「能力向上のために学んだこと」
 - 教育技術指導2「プレゼンテーションの仕方」
 - 実習2（グループ討議）「教習所と自分の現状分析と課題」
 - 応用2（グループ討議）「交通安全センターの果たすべき役割」
 - 【フォローアップ研修】
 - 講義1「フォローアップ研修の意義と位置づけ」
 - 講義2「KJ法」の進め方
 - 実習（グループ討議・全体討議）「地域の交通安全センターになるために」
 - 講義3「期待される交通安全教育指導員とは」
 - 全体総括「個人別決意表明・講評」
- 講師：千葉大学 名誉教授 鈴木 春男 氏
 (株)クレド 代表取締役 吉永 恵一 氏
 (一財)日本交通安全教育普及協会

④参 加 者 22名（最終修了者 19名）

(4) 高校生向け自転車安全教育インストラクター認定及び更新講習会の開催

自動車教習所指導員を対象に、高等学校の自転車安全教育の充実に寄与することを目的として、高校生に対する自転車安全教育における効果的な手法や知識を習得したインストラクター養成のための講習会を実施した。

受講後、一定の要件を満たした者には、当協会から「高校生向け自転車安全教育インストラクター」認定証を交付するとともに、1事業所に3名以上の認定者がいる事業所については、適正

な活動を行う旨の誓約書の提出をもって「高校生向け自転車安全教育団体」として認定をした。

また、平成 24 年度認定者を対象に、認定者のレベルアップを図ることを目的とした認定更新講習会を 2 日間の日程で開催した。

【認定講習会】

- ① 日 時 【1 日目講習】平成 27 年 11 月 25 日（水）13：00～18：00
【2 日目講習】平成 27 年 11 月 26 日（木）9：00～16：00
- ② 場 所 大阪都島自動車学校（大阪府都島区）
- ③ 内 容 【1 日目講習】
○講義 1 「自己理解を促すためのディスカッション手法」
講師：東北工業大学 教授 小川 和久 氏
（株）ムジコ・クリエイト 東京事務所 所長 野藤 智 氏
○講義 2 「高等学校における交通安全教育の現状と進め方について」
講師：（一財）日本交通安全教育普及協会
○講義 3 「屋外で実施する自転車教育の手法等について」
講師：（一財）日本交通安全教育普及協会
【2 日目講習】
○グループ協議「ディスカッション（屋内）及び自転車実技（屋外）の指導案作成」
○実演「ディスカッション」、「自転車実技（事故再現と正しい走行等）」
○筆記テスト
- ④ 参 加 者 40 名

【更新講習会】

- ① 日 時 【第 1 回目】平成 27 年 6 月 22 日（水）～6 月 23 日（木）
【第 2 回目】平成 27 年 10 月 1 日（木）
- ② 場 所 【第 1 回目】国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）
【第 2 回目】（一財）日本交通安全教育普及協会 会議室（東京都港区）
- ③ 内 容 ○講義 1 「教育現場における指導について」
講師：（一財）日本交通安全教育普及協会
○講義 2 「アイスブレイクの実践」
○講義 3 「傾聴の技法について」
○講義 4 「オープンクエスチョンの技法について」
講師：（株）ムジコ・クリエイト 東京事務所 所長 野藤 智 氏
○講義 5 「自転車の安全利用に係る改正道路交通法について」
講師：（一財）日本交通安全教育普及協会
○協議「実践を想定した展開案及びシナリオ案作成」
○実演「ディスカッション」
- ④ 参 加 者 27 名

(5) 高等学校における自転車安全指導研修会の開催

(一社) 日本自動車工業会からの委託を受けて、高等学校における自転車教育を自動車との安全な共存を目指したプレドライバ教育として位置付け、自転車通学許可高等学校等の交通安全指導担当教員を対象に、講義や実技、研究協議を内容とする研修会を、県教育委員会との共催により3会場で開催した。

- ①会 場 【徳島会場】平成27年6月12日(金) 13:00~16:30
徳島県運転免許センター(徳島県板野郡) 37名
【広島会場】平成27年7月27日(月) 13:00~16:30
沼田自動車学校(広島県広島市) 23名
平成27年7月28日(火) 13:00~16:30
山陽自動車学校(広島県福山市) 17名
- ②テ ー マ 「高校生の自転車事故分析に基づいた自転車安全教育の実践」
- ③内 容 ○講義「自動車と共存できる自転車の安全な通行の仕方~高校生を自転車事故から守るための指導~」
講師:(一財)日本交通安全教育普及協会
○実技「信号機のない交差点での事故再現」、「信号機のある交差点で起こる事故再現」、「ヘッドフォン使用の危険性の実験」、「駐停車車両側方通行で起こる事故再現」
講師:自動車教習所指導員、(一財)日本交通安全教育普及協会
○研究協議「ホームルーム等における自転車安全学習の進め方」

(6) 二輪車(主として原付)通学許可校等の生徒指導担当者研修会の開催

(一社) 日本二輪車普及安全協会からの委託を受けて、バイク通学を許可している高等学校の教員等を対象に、高校生の二輪車事故の減少に貢献することを目的として、講義、原付実技体験、事故再現、研究協議を内容とする研修会を4会場で開催した。

- ①会 場 【宮城県会場】平成27年5月13日(水) 10:00~16:25
R45日の出自動車学校19校19名(教員研修)
【茨城県会場】平成27年6月22日(金) 10:00~16:25
茨城県自動車学校30校32名(教員研修)
【奈良県会場】平成27年10月23日(月) 10:00~16:25
法隆寺自動車教習所16校17名(教員研修)
【埼玉県会場】平成27年12月14日(月) 13:00~16:00
秩父中央自動車学校1校18名(秩父農工高校生徒実技指導)
- ②内 容 ○講義「高校生を取り巻く交通環境について」
○実技「ブレーキング、コーナリング、低速バランス」等
○研究協議「二輪車実技教育の在り方」等
講師:自動車教習所指導員、(一財)日本交通安全教育普及協会 等

(7) 交通ボランティア等ブロック講習会の開催

内閣府からの委託を受けて、地域の交通ボランティアや交通指導員等を対象に、地域の交通ボランティア等の交通安全に対する意識の高揚及び資質の向上を図り、地域社会全体の交通安全の確保を図ることを目的として、主に子供と高齢者の交通安全をテーマにした講演や各地の活動事

例発表、班別協議等を内容とする講習会をブロック別に開催した。

①北海道ブロック

開催日 平成27年11月19日(木)～20日(金)

会場 ホテルポールスター札幌(北海道札幌市)

講演 ○講演1「高齢者の交通安全～高齢ドライバーを中心として」

講師：千葉大学 名誉教授 鈴木 春男氏

○講演2「飲酒運転撲滅に向けて」

講師：新潟青陵大学大学院 教授 碓井 真史氏

参加者 1日目86名、2日目49名

②東北ブロック

開催日 平成27年9月7日(月)～8日(火)

会場 ザ・セレクトン福島(福島県福島市)

講演 ○講演1「自転車問題の背景と道路交通法の改正について」

講師：岩手県立大学総合政策部 教授 元田 良孝氏

○講演2「交通安全学習と生涯発達～安全・安心のコミュニティ再生～」

講師：自由学園最高学部 講師 溝端 光雄氏

参加者 1日目75名 2日目 34名

③関東・甲信越ブロック

開催日 平成27年10月28日(水)～29日(木)

会場 ホテルメトロポリタン長野(長野県長野市)

講演 ○講演1「交通ボランティア活動の効果的な進め方」後継者とその育成の方向性

講師：安全教育研究所 所長 星 忠通氏

○講演2「飲酒運転の根絶をめざして」

講師：沖縄県 真栄田 絵麻氏・狩俣 貴子氏

参加者 1日目112名 2日目75名

④東海・北陸ブロック

開催日 平成27年11月11日(水)～12日(木)

会場 ホテルリソル岐阜(岐阜県岐阜市)

講演 ○講演1「自転車を安全利用するための指導法」

講師：(一財)日本自転車普及協会 学芸員 谷田貝 一男氏

○講演2「高齢者に対する交通安全指導の基本」

講師：千葉大学 名誉教授 鈴木 春男氏

参加者 1日目47名 2日目46名

⑤近畿ブロック

開催日 平成27年9月3日(木)～4日(金)

会場 京都平安ホテル(京都府京都市)

講演 ○講演1「交通ボランティア活動の効果的な進め方」後継者とその育成の方向性

講師：安全教育研究所 所長 星 忠通氏

○講演2「新・自転車の交通安全」～指導のポイントをどこにおくか～

講師：(一財)日本交通安全教育普及協会

参加者 1日目名206名 2日目179名

⑥中国・四国ブロック

開催日 平成27年10月1日(木)～2日(金)

会場 ホテルモナーク鳥取(鳥取県鳥取市)

講演 ○講演1「自転車のルールと事故防止」～指導のポイントをどこにおくか～

講師:(一財)日本交通安全教育普及協会

○講演2「子どもの交通安全教育」

講師:NPO法人 日本こどもの安全教育総合研究所 理事長 宮田 美恵子 氏

参加者 1日目53名 2日目52名

⑦九州ブロック

開催日 平成27年9月29日(火)～30日(水)

会場 ニューウェルシティ宮崎(宮城県宮崎市)

講演 ○講演1「高齢者に対する交通安全指導の基本」

講師:千葉大学 名誉教授 鈴木 春男 氏

○講演2「自転車を安全利用するための指導法」

講師:(一財)日本自転車普及協会 学芸員 谷田貝 一男 氏

参加者 1日目173 2日目47名

(8) 高齢者安全運転推進協力者養成事業の開催

内閣府からの委託を受けて、地域の高齢者交通安全指導員等を対象に、参加・体験・実践型の高齢者安全運転教育の継続的な推進協力を養成することを目的として、身体機能や認知・判断力の自己診断、危険予測学習、運転実技、高齢ドライバー地域講習会の企画案作成等を内容とする講習会を2会場で開催した。

①会場 【鳥取県会場】平成27年10月20日(火)9:15～16:40

鳥取県中央自動車学校(鳥取県倉吉市) 55名

【宮城県会場】平成27年11月5日(木)9:15～16:40

石巻中部自動車学校(宮城県石巻市) 56名

②内容 ○健康体操、身体機能の自己診断

○危険予測学習、認知・判断力の自己診断

○運転実技

○講義

○グループ討議による企画案作成

○全体会

講師:自動車教習所指導員、(一財)日本交通安全教育普及協会 等

2. 交通安全教育指導者等支援活動

(1) 学校における交通安全教育に関する協議会の開催

都道府県教育委員会の交通安全教育担当者等を対象に、今後の安全教育の方向性を探り、その成果の普及を図ることを目的として、有識者を交えた情報交換や重要課題についての協議等を内容とする協議会を全国2ブロックで開催した。

①ブロック 【大阪会場】平成27年6月29日(月)13:00～16:30

サムティフェイム新大阪(大阪府大阪市) 8名

【東京会場】平成27年7月10日（金）13：00～16：30

（一財）日本交通安全教育普及協会 会議室（東京都港区） 7名

②内 容 ○講義と質疑応答「文部科学省における学校安全教育の方針」

講師：文部科学省 スポーツ・青少年局学校健康教育課
安全教育調査官 吉門 直子 氏

○協議「学校における交通安全教育の充実」

～自転車や通学路等における効果的な交通安全教育について～

○意見・情報交換

(2) 各種認定者との連携による地域交通安全モデル事業の実施

当協会の各種認定（スーパーアドバイザー、高校生向け自転車安全教育インストラクター）を受けた自動車教習所指導員及び自動車教習所の実践力を高め、地域の交通安全に貢献することを目的として、地域密着型の交通安全モデル事業を4県6か所で実施した。

(3) 講師派遣の実施

自治体や関係機関・団体等からの要請により、児童・生徒や高齢者、自転車の交通安全をテーマにした講習会の講師として職員を派遣した。

(4) 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業の実施

内閣府からの委託を受けて、地域の交通ボランティア等の資質の向上を図るとともに、地域における自主的な交通安全活動を推進することを目的に、地方公共団体から提案された参加・体験・実践型のプログラムを実施した。

①大阪府阪南市会場

事業名 三世代交流地域みんなの交通安全教室 in 阪南・泉南・岬

日時 平成27年9月27日（日）13：00～16：30

会場 尾崎自動車教習所

参加者 園児(37名)園児兄弟姉妹(29名)小学生(53名)中学生(24名)園児保護者(43名)
小学生・中学生保護者(39名)一般(17名)高齢者(69名) 計311名

内容 自転車ルール説明、人形劇、反射材手作り、高齢者への反射材贈呈、自転車点検、
自転車技術トレーニング、自転車乗車体験、交通安全教室（一般）、交通安全教室（高齢者）、交通安全機器体験、白バイ・パトカー乗車体験、自転車整備・点検、
スケアードストレイト見学

②香川県高松市会場

事業名 みんなの交通安全教室 in 香川大学

日時 平成27年11月1日（日）11：00～13：35

会場 香川大学 幸町キャンパス

参加者 大学生（101名）一般(150名) 計251名

内容 シートベルト衝突・横転体験、自転車シミュレータ・飲酒ゴーグル体験、交通安全クイズ大会・DVD鑑賞、スケアードストレイト見学

③熊本県長洲町会場

事業名 交通安全☆オールドマシンプェスタ in 金魚と鯉の郷 長洲

日時 平成27年9月20日(日) 9:50~15:00

会場 金魚と鯉の郷 多目的広場

参加者 長洲町・荒尾市の住民等 約2,000名

内容 交通安全ビンゴゲーム、白バイ・パトカー展示、シートベルトコンビンサー体験、
自転車シミュレータ、飲酒ゴーグル体験、反射材視覚体験

3. 交通安全教育啓発活動

(1) ドライバー向けセーフティーセミナーの開催

主に子供を持つ保護者を対象として、家族ぐるみの交通安全意識の向上を図るための「家族を守ろう！セーフティーセミナー」を開催地の指定自動車教習所、(株)ブリヂストンとの共催の下に開催した。

また、一部会場においては、親子で参加できるセミナーとし、子供向けに自転車の交通安全教室を開催した。

①会場

開催日	開催会場	人数
5/31(日)	堺自動車教習所(大阪府)	46名
6/6(土)	マジオドライビングスクール藤枝(静岡県)	32名
7/5(日)	青森モータースクール(青森県)	37名
7/18(土)	マジオドライバーズスクール鹿児島校(鹿児島県)	37名
10/18(日)	あたご自動車学校(長崎県)	39名
11/7(土)	マジオドライビングスクール大垣(岐阜県)	39名
11/8(日)	マジオドライビングスクール春日井(岐阜県)	41名
10/15(日)	長岡文化自動車学校(新潟県)	30名
11/21(土)	大佐和自動車教習所(千葉県)	36名
11/27(金)	ハッピードライビングスクール(香川県)	39名
12/6(日)	萩自動車学校(山口県)	39名
12/20(日)	広沢自動車学校(徳島県) *親子教室で実施	39名

②内容 【座学】 講話「タイヤの重要性について」

【実技】 「タイヤ点検」、「ブレーキ体験」、「空気圧比較体験」、「運転姿勢」、「発炎筒点火体験」、「シートベルトの効果体験」「自転車シミュレータ」、「自転車基礎トレーニング」、「自転車の正しい乗り方」等

(2) 自転車交通安全教育地域一体型プロジェクトの実施

地域を核とした主として子供(幼稚園児、小学生)への自転車交通安全教育の展開と体制の確立を目的として、地域の関係機関、地区リーダー、ブリヂストンサイクル(株)等の協力・支援の下、参加・体験型の自転車交通安全教育モデル事業を埼玉県内10か所で実施した。

また、自転車交通安全教育推進委員会(埼玉県内の小学校教員及び地区リーダー、交通指導員で

構成)からの助言をもとに、小学校教員向けの短い時間で実施可能な危険予測学習プログラムを収録した「自転車指導プログラム」を制作し、さいたま市及び上尾市の小学校に配布した。

①自転車教室

会 場

【幼稚園・保育園】

平成27年 6月 9日 (火) 大宮保育園 年長園児 23名
平成27年 6月15日 (月) 普門院幼稚園 年長園児 118名
平成27年 6月16日 (火) 大成保育園 年長園児 23名
平成27年 7月 3日 (金) 大成幼稚園 年長園児 67名

【小学校】

平成27年 5月13日 (水) さいたま市立上里小学校 3年生 64名
平成27年 6月20日 (土) さいたま市立大成小学校 2・3・4年生 71名
平成27年 6月23日 (火) さいたま市立日進北小学校 1・3年生 255名
平成27年 9月29日 (火) 上尾市立瓦葺小学校 3年生 84名
平成27年10月27日 (火) 上尾市立中央小学校 3年生 81名
平成27年11月13日 (金) 上尾市立尾山台小学校 3・4年生 105名

内 容

【幼稚園・保育園】

「腹話術」、「パネルシアター」、「自転車の発進・停止」、「信号の意味」等

【小学校】

「点検・乗車姿勢」、「ヘルメットの着用方法」、「基本走行（信号のある交差点、信号のない交差点、駐車車両の側方走行）」等

②小学校自転車交通安全教育推進（調査）委員会

第1回 平成27年7月7日 (火) 会 場：埼玉会館

第2回 平成27年11月10日 (火) 会 場：さいたま市産業文化センター

(3) 自転車安全利用講習会の実施

東京都武蔵野市からの委託を受けて、一般市民を対象に、自転車事故の発生状況や安全な乗り方等についての講義を内容とする自転車の安全利用のための講習会を実施した。

平成26年度は、合計31回、2,271名が受講し、講習会終了後に自転車安全利用認定証の交付、TSマーク助成券及び反射材の交付等を行った。

(4) 住民参加型の地域交通安全普及啓発モデル事業の実施

地域における効果的な交通安全普及啓発活動の確立と普及を目指し、大塚製薬（株）の協力を得て、地域の関係機関・団体等との連携を図りつつ、モデル的に徳島県において、地域密着型、住民参加型の交通安全普及啓発事業を実施した。

①徳島スマートドライバーセーフティラリー2015

内 容 徳島県内在住又は在勤・在学の運転免許保有者を対象に、3か月間にわたる無事故・無違反のコンクールを実施した。

実施状況 参加チーム数 3,879チーム、無事故・無違反チーム 3,584チーム (92.4%)

参加人数 15,542人、無事故・無違反人数 15,236人 (97.9%)

②親子で楽しく学ぶ自転車交通安全教室 2015

内 容 徳島県内において自転車に乗り始めの幼児・児童とその保護者を対象に、協会で開発した「親子向け自転車教育プログラム」による自転車交通安全教室を開催した。

会 場 【徳島県運転免許センター 自転車コース】

平成 27 年 6 月 13 日 (土) 9:30~12:00 子供 22 名・保護者 27 名

協力：鳴門警察署 徳島県交通安全協会 広沢自動車学校

平成 27 年 11 月 3 日 (土) 9:30~12:00 子供 45 名・保護者 38 名

協力：徳島北警察署 徳島県交通安全協会 徳島北交通安全母の会連合会
広沢自動車学校

【美馬市立美馬中学校 体育館】

平成 27 年 11 月 21 日 (土) 9:30~12:00 子供 26 名・保護者 15 名

協力：美馬警察署 美馬地区交通安全教育推進協議会 広沢自動車学校

【東みよし町役場 三加茂庁舎 駐車場】

平成 27 年 11 月 23 日 (日) 14:00~16:00 子供 20 名・保護者 13 名

協力：三好警察署 東みよし町 三好地区交通安全教育推進協議会

東みよし町交通安全母の会連合会 広沢自動車学校

プログラム ○自転車交通安全クイズ (子供)
○自転車指導の基礎知識 (保護者)
○自転車事故再現見学 (子供・保護者)
○初心者用トレーニング (乗れない子供)
○基礎トレーニング (乗れる子供)
○法定走行 (子供体験、保護者指導)

③高齢歩行者のためのセーフティーチェック講習会 2015

内 容 徳島県内において歩行中の交通事故死者数に占める割合が多い高齢者を対象に、全国に先駆けて、最新の歩行シミュレータや交通安全と健康を融合させた、効果的な交通安全教育プログラムを活用した講習会等を開催した。

会 場 【阿波市交流防災拠点施設アエルワ】

平成 27 年 9 月 30 日 (水) 10:00~12:00 参加者数 約 300 名

協力：阿波市 阿波吉野川警察署 阿波市交通安全協会 他

【つるぎ町就業改善センター】

平成 27 年 10 月 24 日 (土) 9:30~12:00 参加者数 43 名

協力：美馬警察署 美馬地区交通安全教育推進協議会 つるぎ町シルバー学園

【みよし町社会福祉協議会】

平成 27 年 10 月 25 日 (日) 10:00~12:00 参加者数 29 名

協力：三好警察署 三好地区交通安全教育推進協議会 東みよし町社会福祉協議会

【阿南警察署】

平成 27 年 11 月 1 日 (日) 9:30~12:00 参加者数 30 名

協力：阿南警察署 阿南地区交通安全教育推進協議会 阿南市社会福祉協議会

プログラム ○講義「高齢歩行者の交通事故」
○体験学習「認知・判断力診断」
○体験学習「歩行シミュレータを使用した危険予測学習」
○体力測定「歩行速度、開眼片足立ち 等」

(5) 緊急時の対応に関する啓発活動の実施

日本保安炎筒工業会との連携・協力により、交通事故・二次災害等の減少に資することを目的として、発炎筒の使用方法や性能、非常時等における対処方法を普及啓発するためのポスターを5,000枚制作し、全国の都道府県、政令指定都市、警察本部、各高速道路(株)等に配布した。

(6) 国際協力による教育普及活動の実施

平成27年度は、韓国からの交通安全視察に対し情報・資料の提供及びアドバイスをを行った。

(7) 関係機関と連携した交通安全教育啓発活動の推進

交通安全教育の普及を目的に、下記のとおり、関係機関と連携した活動を推進した。

①シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会の事務局

関係省庁、団体等官民一体となって国民のシートベルトとチャイルドシートの着用推進啓発活動を行っている「シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会」の活動に協力するとともに、同協議会の事務局を担当した。

②交通安全フォーラム推進協議会の事務局

国民の交通安全意識を高揚することを目的とした交通安全フォーラム(内閣府及び開催地の県・市主催、関係省庁後援、関係団体協賛)の推進協議会の活動に協力するとともに、同協議会の事務局を担当した。

日 時 平成27年11月17日(火) 13:00~16:30

場 所 静岡県男女共同参画センター あざれあ(静岡県静岡市)

テ ー マ 「誰もが安心、安全を実感できる交通社会の実現に向けて
~高齢者を交通事故から守るために~」

内 容 ○アトラクション 静岡県警察音楽隊

○基調講演「高齢者の安全、安心な運転に向けて」

実践女子大学 間社会学部 教授 松浦 常夫 氏

○パネルディスカッション

星 忠通 氏(安全教育研究所 所長)

浅茅 陽子 氏(女優)

出雲 信久 氏(静岡県警察本部 交通部 参事官兼交通企画課長)

川守田 拓志 氏(北里大学 医療衛生学部 専任講師)

松浦 常夫 氏(実践女子大学 人間社会学部 教授)

参 加 者 約350名

③全国交通安全運動への参加

官民一体となって実施している「春・秋の全国交通安全運動」に協賛団体として参加・協力を行った。

④交通安全ファミリー作文コンクールの実施

内閣府及び関係団体との共催により、「我が家の交通安全」をテーマにして各家庭における交通安全に関する話し合いを進めることを通じ、国民1人1人の交通安全意識の高揚を図り、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に資することを目的とした交通安全ファミリー作文コンクールを実施した。

平成27年度は、小学生2,835点、中学生16,034点、一般(高校生以上)200点、合計19,069点の応募となった。

II 調査研究活動

効果的な交通安全対策、事業の企画・実施に資することを目的として、平成27年度は、高齢者に関する調査及び子供に対する自転車教育に関する調査を実施した。

1. 高齢者の交通安全に関する意識等の調査

埼玉県内のシニア大学に参加した269名の高齢者を対象に、日頃の交通安全意識や自転車利用等についてアンケート調査を実施した。

【調査結果 一部抜粋】

- 普段自転車を利用している者は64%で、その内、自転車の交通ルールを知っている者は73%、守っている者は48%であった。
- 自転車利用時における大人のヘルメット義務付けについて、「義務付けるべきである」が18%、「義務付けるべきでない」が39%、「わからない」が43%であった。
- 自転車保険の加入については、70%の者が「義務づけるべき」と回答した。

2. 子供に対する自転車教育に関する調査

徳島県内の自転車に乗り始めの子供118名とその保護者88名を対象に開催した、親子自転車交通安全教室の参加者に対し、子供の自転車利用状況や乗り方指導の時期等についてアンケート調査を実施した。

【調査結果 一部抜粋】

- 参加した子供が自転車に乗り始めた時期は、「3歳ごろ」が36%と最も多く、次いで4歳、5歳の順であった。
- 参加した子供が自転車でヒヤリとした経験は23%、子供の自転車運転が危ないと感じている保護者は50%であった。
- 子供に対する自転車の指導時期で最も多かったのが、「4から5歳ごろ」で62%、その理由として「自転車に乗れるようになる時期だから」、「危険なことを始める時期だから」、「伝えた内容がわかりだす頃だから」などの回答があった。

III 情報収集提供活動

主として行政や教育現場、地域や職場において交通安全教育に携わっている担当者等に対し、交通安全教育等を推進する上で有益かつ実践的な情報を提供するとともに、当協会の活動内容やタイムリーな交通安全情報等を広く国民一般に向けて発信することを目的として、下記のとおり、2種類の活動を実施した。

1. 月刊誌「交通安全教育」の編集・刊行

交通安全に関する対策や指導方法、具体的な教育指導事例等を掲載した月刊誌「交通安全教育」を毎月編集・刊行した。

2. ホームページによる情報の発信及び収集

ホームページの積極的な活用を通して、広く交通安全教育や各種教材・教具等に関する情報を発信するとともに、双方向的に全国からの情報の収集に努めた。

IV 教材の制作・普及事業

1. 交通安全教育啓発資料・機材の開発及び普及

既存の交通安全教育啓発資料・機材について、交通事故の経年変化や道路交通法の改正等に対応して、適宜、資料・教材の改訂を行うとともに、全国の自治体、関係機関・団体等に対する訪問活動やホームページ・DM等の媒体を活用した広報活動を通して、広く周知を図り、各種の交通安全活動を効果的に進める上での有効活用を普及促進した。

平成 27 年度は、本格的な普及促進を開始した歩行者向け「交通安全危険予測シミュレータ」が、徳島県、愛媛県で導入されるなど、多数の交通安全教室やイベントにおいて活用された。

2. 教育啓発資料の監修・指導等の実施

民間企業等が企画・制作する交通安全啓発用資料・教材に対して、要請に応じて企画・監修・指導等を行った。

V 基本財産等運用事業

当協会の健全な運営を進めるためには、安定した財政基盤が不可欠であることから、所有ビルを貸事務所及び貸店舗等として賃貸するなど、基本財産等の運用に関する事業を引き続き実施した。

平成 27 年度は、貸事務所の空き室改善や地下有料駐車場の利用者確保に努めた結果、26 年度を大きく上回る稼働率となった。

VI 会議の開催

下記のとおり、理事会、評議員会等を開催した。

1. 理事会

(1) 期日 平成 27 年 6 月 4 日 (木) 14:00~15:40

会場 (一財) 日本交通安全教育普及協会「会議室」

議題 第 1 号議案 平成 26 年度事業報告書(案)の承認について

第 2 号議案 平成 26 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書(案)の承認について

第 3 号議案 平成 26 年公益目的支出計画実施報告書(案)の承認について

第 4 号議案 定時評議員会の開催について

第 5 号議案 役員候補者の評議員会への推薦について

第 6 号議案 代表理事及び執行理事の職務執行状況の報告について

その他

評議員候補者について

(2) 期日 平成 28 年 3 月 23 日 (水) 14:00~15:45

会場 (一財) 日本交通安全教育普及協会「会議室」

議題 第 1 号議案 平成 28 年度事業計画(案)の承認について

第 2 号議案 平成 28 年度収支予算(案)の承認について

第 3 号議案 特定個人情報保護規程(案)の制定について

第 4 号議案 当ビルの利活用に関する(株)高輪スポーツからの申出への対応(案)について

第 5 号議案 代表理事及び執行理事職務執行状況の報告について

2. 評議員会

(1) 期日 平成 27 年 6 月 26 日 (金) 14:00~15:30

会場 (一財) 日本交通安全教育普及協会「会議室」

議題 第 1 号議案 平成 26 年度事業報告書について

第 2 号議案 平成 26 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について

第 3 号議案 平成 26 年度公益目的支出計画実施報告書について

第 4 号議案 役員を選任について

第 5 号議案 評議員を選任について

報告

1 平成 27 年度事業計画について

2 平成 27 年度収支予算について

3. その他

ほぼ 1 か月に 1 回の割合で、代表理事・業務執行理事・事務局による定例会議を開催し、業務の執行等について連絡協議を行った。